

令和2年度 中町中学校 学校評価

学校教育目標

かしこく、やさしく、たくましく未来を生き抜く生徒の育成  
「凡事徹底」～ 時を守り 場を清め 礼を正す ～

評価指標

- A: 非常に良い (達成値が4.0以上4.5未満)
- B: 良い (達成値が3.5以上4.0未満)
- C: 課題がある (達成値が3.0以上3.5未満)
- D: 速やかな改善が必要 (達成値が3.0未満)

観点	項目	アンケート内容 (取組の状況)				自己評価					課題と改善方策	学校関係者評価 学校評価検討委員会で出た意見	
		5:とてもそう思う 4:そう思う 2:あまりそう思わない 1:まったくそう思わない				今年度評価(点数は評価指標の平均)							
		教職員	保護者	生徒	達成値	教職員	保護者	生徒	評価	観点評定			
確かな学力の育成	「確かな学力」の定着(基礎・基本)	個に応じた支援・個別指導等を充実させて、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図っている。	お子さまは、漢字の読み書きや数学の計算などの基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている。	漢字の読み書きや数学の計算などの基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている。	3.9	3.9	3.8	3.9	B	B	○各単元の中に、論理的に読む力や書く力、話す・聞く力を育むことを目的とした学習活動を意図的に取り入れる。(例、複数の図表や文章等を合わせた資料から、必要な情報を取り出し、短い文章にまとめ直す。その際、意見と根拠を明確にして書くことを意識させる。) ○各教科のワーク等の提出・確認時期について、主に定期考査時に行っているものを、各単元終了時等の複数回に分けて提出させる。これにより、テスト前のみならず取り組む家庭学習から、日頃から計画的に取り組む家庭学習へと変えていく。	少人数授業は個に応じた対応がしやすくなり、学習理解を深めることにつながっている。小グループの話し合いも効果的な取組と考えられる。しかし、家庭学習の充実に向けては、テスト前の詰め込み学習が多見られ、生徒が自主的に取り組めるような仕組みや配慮が必要ではないか。一人一台端末の効果的な活用ができることよ。	
	「確かな学力」の定着(思考・判断・表現力)	自分の考えを論理的に話したり書いたりする学習等を計画的に取り入れ、思考力・判断力・表現力の育成に努めている。	お子さまは、自分の考えをわかりやすく話したり書いたりする力が身に付いている。	自分の考えをわかりやすく話したり書いたりする力が身に付いている。	3.7	4.1	3.4	3.5	B				
	言語活動の充実	毎時間の授業展開の中に、他者との対話等の言語活動を意識的に取り入れている。	お子さまは、他者とのコミュニケーションを積極的に進めている。	ペアやグループで話し合ったり、協力して課題を解いたりすることに積極的に取り組んでいる。	3.7	3.9	3.7	3.7	B				
	学習評価	単元の評価規準を明確にし、系統性のある評価規準を作成したりすることで、評価の客観性・信頼性を高めることに努めている。	学校は、学習活動において、お子さまの努力や能力を適切に評価している。	先生は、授業において、自分の努力や能力を適切に評価している。	3.9	3.8	4.2	3.7	B				
	家庭学習の指導	自主学習ノートやテスト計画表等を活用して、生徒の自主的・計画的な学習の充実を図っている。	お子さまは、家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる。	家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる。	3.6	3.8	3.3	3.6	B				
	ICT機器の活用	ICT機器を積極的に活用し、効果的かつ効率的、また、生徒の学習意欲を高めるような授業作りを努めている。		パソコンなどを活用した授業は、わかりやすく楽しい。	4.0	4.1		4.0	A				3.8
豊かな心の育成	道徳教育(規範意識)	社会生活を送る上で、人間としてもつべき規範意識を育む学習の実践に努めている。	学校は、社会のきまりやマナーなどを適切に指導している。	社会のきまりやマナーなどを守って生活している。	4.3	4.2	4.3	4.5	A	A	今年度でまとめとなる「道徳教育拠点校育成支援事業」と「新たな課題に対応した人権教育研究事業」(それぞれ2年間の県の指定研究)で研究を重ねてきた「対話」に焦点化した授業展開を来年度以降も実践していく。また、研究から明らかになった課題については分析し、改善を図っていく。	道徳は、生徒の多様な発言からいろいろな立場やいろいろな視点に立つて物事を考えることができるので、対話中心の授業展開を続けてほしい。スマホの使い方等は大人は常に大丈夫かと心配しており、子どもとの意識の違いを感じる。	
	道徳教育(人権感覚)	「人権教育コアカリキュラム」を基盤として、すべての教育活動を通じて、自尊感情や他者への思いやり等の道徳性の育成に努めている。	お子さまは、自分のことや他人のことを大切にしている。	自分のことや他人のことを大切にしている。	4.3	4.1	4.4	4.4	A				
	情報モラル教育	他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し、情報社会で責任をもって行動できるように指導している。	お子さまは、スマートフォンやパソコン等を使用するときは、インターネット上のルール・マナーを理解し、守ることができている。	スマートフォンやパソコン等を使用するときは、インターネット上のルール・マナーを理解し、守ることができている。	3.9	3.8	3.7	4.3	B				4.2
健やかな体の育成	部活動	生徒が自主的に活動し、挑戦する楽しさや喜びを味わうことができる部活動の運営を心がけている。	お子さまは、部活動に意欲的に取り組んでいる。(お子さまが部活動に所属している人のみ)	部活動は充実した活動になっている。(部活動に所属している生徒のみ)	4.1	3.8	4.4	4.1	A	A	体の健康だけでなく、いじめ、虐待、不登校、性の問題などのような心の健康にも着目した取組を進めていく。	部活は縦のつながりができる場なので大事にしてほしい。アンガーマネジメント等も学生の段階から教育することはとても大事なことだと考える。	
	健康教育	正しい生活習慣や食習慣を身に付け、自らの健康管理ができる生徒の育成に努めている。	お子さまは、正しい生活習慣や食習慣が身に付いている。	正しい生活習慣や食習慣に気を付けて生活している。	4.1	4.1	4.0	4.1	A				4.1
特別支援教育の充実	学習指導	「ユニバーサルデザイン」の視点に立ち、中町中の共通した授業スタイルによる、すべての生徒にとってわかりやすい授業になるように工夫している。	教師は、授業を工夫してわかりやすく教えている。	先生は、授業を工夫してわかりやすく教えている。	4.0	4.0	4.1	3.9	A	A	4.0	「ユニバーサルデザイン」の視点に立った授業づくりの取組を継続していく。	理解を促すために時代に合ったものの活用が大事で視覚支援は効果的だと思う。
生徒指導の充実	生徒指導(規範意識・態度の育成)	学校や社会でのきまりやマナーについて、全職員が共通理解のもとで、生徒の規範意識の向上に努めている。	学校は、社会のきまりやマナーなどを適切に指導している。	社会のきまりやマナーなどを守って生活している。	4.4	4.3	4.3	4.5	A	A	いじめ・暴力行為等がゼロではない現状を踏まえ、すべての生徒にとって安心して学び、生活できる学校をめざし、自分の大切さとともに他者の大切さも認めるという当たり前の人権感覚を育てていくことを通じて、問題行動の未然防止に努めている。	生徒と先生の距離感が近く、悩みを相談しやすい環境だと考えるが、生徒の評価が低いのは何か隠れているのではないか。不登校生への指導の充実も、このまま続けてほしい。先生が一人で抱え込まず、チームで対処されますように。	
	生徒指導(共感的内面理解)	教育相談等を通じて、一人一人の生徒の内面を共感的に理解し、信頼関係に基づいた指導に努めている。	教師は、お子さまの悩みなどを理解し、適切な指導をしている。	先生は、悩みや困ったことなどを理解し、丁寧な指導をしている。	4.1	4.4	4.1	3.6	A				
	いじめ対策	「いじめの見落とし0」、「初期対応がすべて」という意識を持って未然防止に努めるとともに、早期発見に取り組む、保護者と連携をとりながら適切な指導を行っている。	学校は「いじめを許さない」という姿勢で早期発見に努めるとともに、保護者と連携をとりながら適切に指導を行っている。		4.2	4.4	4.0		A				4.2
生徒の社会的自立に向けた取組	特別活動	特別活動を、生徒会等を中心に生徒一人一人が主体的に取り組めるように計画・実践している。	お子さまは、学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。	学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。	4.0	4.0	4.1	4.0	A	B	キャリア教育の中核に、「キャリア・パスポート」を据える。学校行事等の「振り返りの記録」をキャリア教育の視点から構成し直す。生徒が作成したそれらの「振り返りの記録」は、ファイル等に蓄積した上で、学期末の「キャリア・パスポート」作成時の資料とする。	かつて生徒会活動にしっかり取り組ませればいいのではないかという意見が出て以来、年々良くなってきている。トライやるは将来を考える上で大事なことで、来年こそしっかりと実施できますように。進路指導は低学年からの指導が重要だと考える。	
	キャリア教育	「トライやる・ウィーク」をはじめとする体験活動等を通じて、生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育てるキャリア教育の充実を努めている。	お子さまは、働くことの意義を理解し、将来の夢や目標の実現に向けて努力している。	働くことの意義を理解し、将来の夢や目標の実現に向けて努力している。	3.7	3.9	3.3	3.8	B				
	進路指導	子どもの将来を見通した長期的視点に立った上で、学年に応じた系統性のある進路指導を行っている。	学校は、学年に応じた適切な進路指導を行っている。	卒業後の進路についての目標を持っている。	3.9	4.0	4.1	3.8	B				3.9
防災・安心安全な環境整備	防災教育	「消防計画書」に基づいた避難訓練や学習を実施し、防災意識の向上に努めている。	お子さまと、災害時の避難方法や避難場所を確認するなど、防災についての話をしている。	日頃から、災害時の避難方法や避難場所を意識しながら生活している。	2.7	3.0	2.7	2.6	D	C	防災教育の年間指導計画に基づき、避難訓練を実施する。また、その事前・事後の特別活動等で震災・防災等の教材を取り扱ったり、各教科で防災に関連する単元があればその視点を意識した指導を行ったりする。	防災教育については、兵庫県の震災を教訓に取り組む必要がある。防災に関する家庭の意識も低いので、地域連携による訓練など意識づけが必要だと思う。	
	施設・設備	施設・設備の定期点検と拡充を行い、校内の安全を確保するとともに、教育効果を高めていけるような環境の整備に努めている。	学校の施設・設備は、お子さまが学習や部活動に取り組む上で、安全で充実している。	学校の施設・設備は、学習や部活動に取り組む上で、安全で充実している。	4.0	4.0	4.2	3.7	A				3.4
地域から信頼される開かれた特色ある学校づくり	保護者・地域との連携	P T A活動や学校行事・懇談会等を通じて、保護者・地域との連携を深め、学校への教育的支援体制を作り上げている。	学校は、保護者の皆様や地域との連携を通じて、教育活動を進めている。		4.2	4.3	4.2		A	A	学校HPや通信、参観日・オープンスクール等を通じた保護者・地域への情報公開・提供について、ICT機器等を活用しながらさらに効果的な方法を探っていく。 また、情報発信に加え、学校の教育目標やめざす子ども像などを地域社会と共有しながら連携・協働を進めていき、地域社会の協力を得ながら、一緒に子どもの成長を支えることのできる体制作りを整えていく。 以上の視点からカリキュラムマネジメントを進めていくことで、来年度は「社会に開かれた教育課程」の実現をめざしていく。	学校だよりやホームページ等の情報発信は十分できており、子どもが伝えない情報を得ることができている。今年は、コロナの影響で、参観日やオープンスクールに学校になかなか入ることができなかった。しかし、学校行事の縮小があったが、中止ではなくできる形を学校なりに努力されたことがよくわかる。開かれた「充実した学校生活」「中町中に満足」が高評価なのは、すばらしい。	
	情報公開	学校HPや通信、参観日・オープンスクール等を通じて、保護者・地域への積極的な情報公開・提供に努めている。	学校は、通信や参観日・オープンスクール・ホームページなどを通じて、保護者の皆様へ教育活動内容を積極的に公開し、わかりやすく伝えている。		4.4	4.6	4.3		A				
	保護者への対応	保護者からの相談・要望に対し、誠実な対応を行っている。また、生活指導上の問題点等については、保護者との情報共有を迅速、かつ、適切に行っている。	学校は、保護者の皆様からの相談・要望に対し、誠実かつ適切に対応している。		4.4	4.6	4.3		A				
	学校組織運営	「学校経営の基本方針」のもと、組織の一員として、密な情報交換を図りながら、能動的・創造的に教育活動に当たることができている。	お子さまは、充実した学校生活を送っている。	充実した学校生活を送っている。	4.2	4.1	4.3	4.2	A				
	学校満足度		中町中学校の教育に満足している。		4.2		4.2		A				
	研修・研究体制	研究テーマ「道徳科が好きになる授業づくり」のもと、研究・研修体制を確立し、研究授業や職員研修会の充実を図り、各自の資質・能力の向上に努めている。			4.2	4.2			A				4.3
全体を通じた評価・評定					4.0	4.0	4.0	3.9	A		生徒を学校だけに任せるのではなく地域の皆で声かけ、見守りをしていけたらと思う。声かけをすると大きな挨拶が返ってくる。いろいろと落ち着いてきていると思う。		